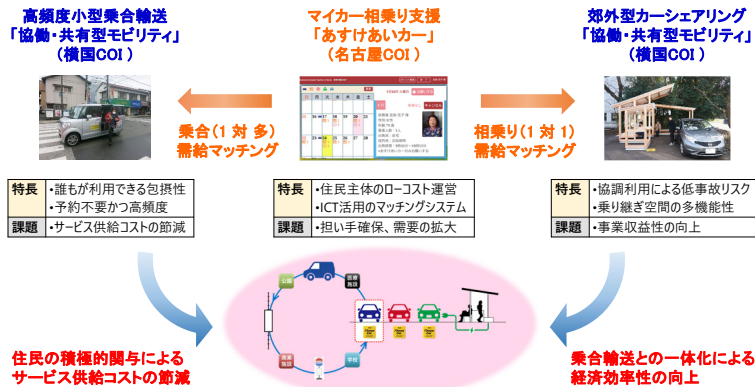


地域住民の積極的な関与によって定路線乗合輸送とカーシェアリングの一体的な運用を実現し、その持続可能性を確保することで、郊外居住者の外出支援および同地域におけるソーシャルキャピタルの醸成に寄与する。

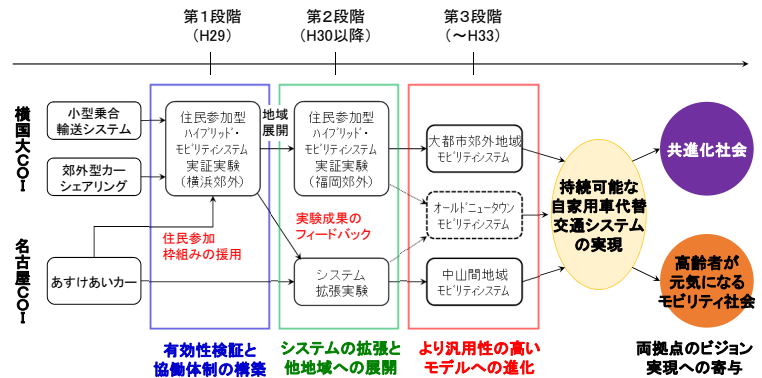
横浜国大COIと名古屋COIとの連携による「住民参加型ハイブリッド・モビリティシステム」の開発



「住民参加型ハイブリッド・モビリティシステム」

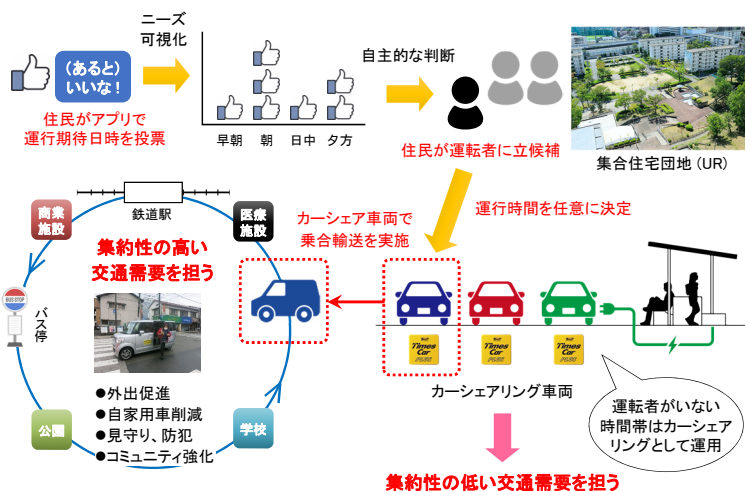
- ・定路線乗合輸送とカーシェアリングの一体的運用
- ・地域住民自らの手による乗合輸送サービスの提供
- ・アプリ活用によるマイルドな需給マッチング

プロジェクトの全体構想と本支援期間での取り組み



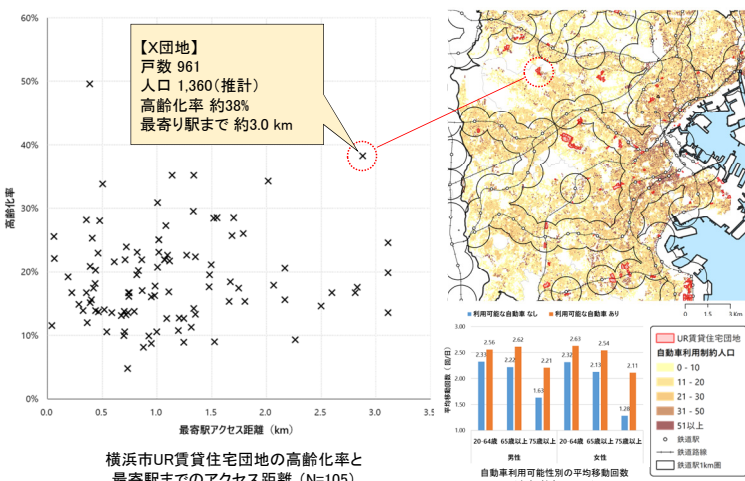
- H29年度達成目標
1. 横浜を中心としたフィジビリティスタディ(市場分析)
 2. 横浜郊外の集合住宅団地 (UR) における実証実験

住民参加型ハイブリッド・モビリティシステムの概要



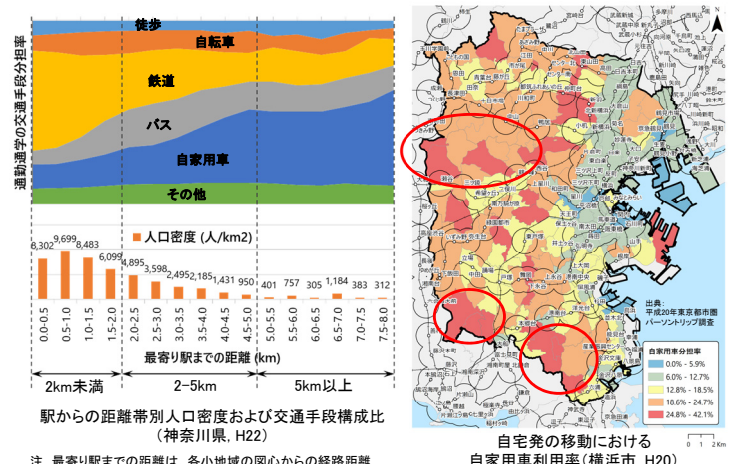
フィジビリティスタディ(市場分析) 都市課題の縮図としての郊外住宅団地

- ・高齢化、移動制約、コミュニティの希薄化、施設の老朽化、若い世代の流出



フィジビリティスタディ(市場分析) 居住地域と交通手段の関係

- ・鉄道駅から離れるほど、日常の移動における自家用車への依存が高まる



具体的場所における提案システムの実装イメージ

